



札幌管区気象台
Sapporo Regional Headquarters, JMA



仙台管区気象台
Sendai Regional Headquarters, JMA

報 道 発 表

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



令和 7 年 12 月 22 日
札 幌 管 区 気 象 台
仙 台 管 区 気 象 台

令和 7 年度防災気象講演会「3. 11 東日本大震災から 15 年
～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～」を開催します

札幌管区気象台・仙台管区気象台は宮城県と共催で、令和 8 年 2 月 10 日に令和 7 年度防災気象講演会（併催：みやぎ防災フォーラム）を開催します。本講演会は札幌・仙台の 2 会場を中継して実施します。東日本大震災を振り返り、北海道・三陸沖後発地震注意情報への理解を深め、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備えを考えていただけるよう、ぜひご参加ください。

○開催概要

日 時：令和 8 年 2 月 10 日（火） 13 時 00 分 ～ 15 時 50 分
共 催：札幌管区気象台、仙台管区気象台、宮城県
後 援：北海道、（一社）日本気象予報士会北海道支部、
（一社）日本気象予報士会東北支部、
地球ウォッチャーズー気象友の会ー
会 場：【札幌会場】北海道大学 学術交流会館 小講堂
【仙台会場】仙台市中小企業活性化センター多目的ホール（AER 5 階）
【オンライン会場】Zoom ウェビナー
申 込：参加無料・事前申込（先着各会場 120 名、オンライン 1000 名）
※後日、YouTube にてアーカイブ配信も行います。

○講演会の詳細・事前申込の方法

講演題目や申込方法等は別紙及び以下の特設ページをご覧ください。
後日公開予定のアーカイブ動画も、以下ページに掲載します。

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>

○取材希望について

当日は講演会の模様を公開します。取材を希望される場合は、社名、氏名及び人数を 2 月 9 日（月）10 時までに以下の問合せ先までお知らせください。

問合せ先：【札幌会場】札幌管区気象台 総務部 業務課 広報担当
電話 011-611-3217
【仙台会場】仙台管区気象台 総務部 業務課 広報担当
電話 022-297-8102

3.11

令和7年度防災気象講演会、
みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

令和8年

2月10日[火]

13時00分～15時50分(開場12時00分)

入場無料 ※事前申込必要

演題

第一部(これまでの歩み)

1. 震災当時の経験と教訓

たけやま 武山 ひかる
Tell～子どもの目線から伝える被災地～

2. 東日本大震災から15年—発生メカニズムと被害実態を振り返る

いまむら ふみひこ
東北大学 副学長・災害科学国際研究所 教授 今村 文彦

3. 東日本大震災以降の地震・津波に関する情報の改善

あおき しげき
札幌管区気象台 気象防災部長 青木 重樹

第二部(これからの備えと避難対策)

4. 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への備えと北海道・三陸沖
後発地震注意情報もりくぼ つかさ
内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当) 森久保 司

5. 寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

ねもと まさひろ
日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域 教授・災害対策教育センター長 根本 昌宏

東日本大震災から15年。

この15年間で防災情報ははじめ様々な改善が行われてきた。

それらを踏まえ、震災の記憶を風化させず、

今後来るべき巨大地震にどう備えるのか——

節目の年を迎える今、我が事感を持って考えていただきたい。

会場

北海道大学 学術交流会館 小講堂

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目8-1



札幌会場

仙台会場

仙台市中小企業活性化センター多目的ホール

〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

オンライン会場

Zoomウェビナー

定員

各会場先着120名、オンライン先着1000名

問い合わせ先

講演会事務局 info_lectureR7d@met.kishou.go.jp



共催:札幌管区気象台、仙台管区気象台、宮城県

後援:北海道、(一社)日本気象予報士会北海道支部、(一社)日本気象予報士会東北支部、地球ウォッチャーズ—気象友の会—

講演会参加のお申し込みは
こちらのページから▶

申込期限 2月8日

[https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/
event/lecturesR7d/index.html](https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html)

3.11 令和7年度防災気象講演会、 みやぎ防災フォーラム 併催

東日本大震災から15年

～来るべき巨大地震に、我々はどう備えるか～

次第

13:00開始予定

第一部(これまでの歩み)



1.震災当時の経験と教訓

Tell～子どもの目線から伝える被災地～

たけやま

武山 ひかる



2.東日本大震災から15年

一発生メカニズムと被害実態を振り返る

東北大学 副学長・災害科学国際研究所 教授

いまむら ふみひこ

今村 文彦



3.東日本大震災以降の

地震・津波に関する情報の改善

札幌管区気象台 気象防災部長

あおき しげき

青木 重樹

14:30開始予定

第二部(これからの備えと避難対策)



4.日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震への 備えと北海道・三陸沖後発地震注意情報

内閣府 政策統括官(防災担当)付参事官(調査・企画担当)

もりくぼ つかさ

森久保 司



5.寒冷期の災害発生を想定内とした備えと対応

日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域
教授・災害対策教育センター長

ねもと まさひろ

根本 昌宏

申込方法

- 参加には事前申込が必要です。
先着順で受付し、定員に達し次第締め切ります。

定員 | 各会場：120名、オンライン：1000名

- 札幌会場、仙台会場、オンライン（Zoomウェビナー）
からお選びください。

講演会参加のお申し込みは
こちらのページから▶

申込期限 2月8日

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/information/event/lecturesR7d/index.html>



- 途中参加・退出は可能です。

会場

※札幌・仙台の2会場

札幌会場

北海道大学 学術交流会館 小講堂

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目8-1

仙台会場

仙台市中小企業活性化センター 多目的ホール

〒980-6105 仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階

個人情報の取り扱いについて

ご入力頂いた個人情報は、本講演会に関する事務に
のみ利用いたします。

問い合わせ先

講演会事務局

info_lectureR7d@met.kishou.go.jp